

『ドレス・コード？——着る人たちのゲーム』



©The Kyoto Costume Institute

企画・編集：牧口 千夏（京都国立近代美術館）

石関 亮、小形 道正（京都服飾文化研究財団）

編集補助：池澤 茉莉（熊本市現代美術館）

発行：京都服飾文化研究財団

版型：B5 版、カラー322 頁

価格：2,300 円+消費税

ISBN978-4-9903965-3-4

本書は「ドレス・コード？——着る人たちのゲーム」(2019～2020 年
京都国立近代美術館等三館巡回) の図録です。

目次

0. 裸で外を歩いてはいけない？

ごあいさつ

「ドレス・コードをめぐる——明日着る服を考えるために」

石関 亮（京都服飾文化研究財団 キュレーター）

「着る人たちのゲーム——登場人物紹介」

牧口 千夏（京都国立近代美術館 主任研究員）

1. 高貴なふるまいをしなければならない？
2. 組織のルールを守らなければならない？
3. 働かざる者、着るべからず？
4. 生き残りをかけて闘わなければならない？
5. 見極める眼を持たねばならない？

対談「現代ファッションをめぐるダンショウ（断章×談笑）」

千葉 雅也（立命館大学 准教授）×蘆田裕史（京都精華大学 准教授）

「明るいニヒリズム？」

鷲田 清一（大阪大学・京都市立芸術大学 名誉教授）

6. 教養は身につけなければならない？
7. 服は意志を持って選ばなければならない？

8. 他人の眼を気にしなければならない？
9. 大人の言うことを聞いてはいけない？
10. 誰もがファッションナブルである？
11. ファッションは終わりのないゲームである？

「伝統とファッションのはざまを装う

—— 中国のモン衣装における変化と規範」

宮脇 千絵（南山大学 准教授）

「ファッションをめぐる相互行為—— ステレオタイプ論序説」

小形 道正（京都服飾文化研究財団 アシスタント・キュレーター）

出品リスト

謝辞

フォト・クレジット

12. 与えよ、さらば与えられん？